

福岡大学法科大学院
令和 7 年度 B 日程小論文試験
出題趣旨・採点基準

〔出題趣旨〕

設問 1

問題文を分析し正確な読解や分析が出来ているかを確認するとともに、正確で分かりやすい文章表現力があるかを確認する趣旨で出題した。

設問 2

自己の見解について述べるに当たり筆者の見解との異同を示すことを求めることにより、幅広く問題文を分析し正確な読解や分析、そして論理的判断が出来ているかを確認するとともに、文章表現の正確性・論理性・説得性・簡明性等を問う趣旨で出題した。

〔採点基準〕

設問 1

筆者の結論につながる論の展開が飛躍無く段階を追って分かり易く示されている度合いに応じた評価で採点する。

また、この論理展開を示す過程における日本語の用い方が、言い回しや、接続詞の用い方、段落の構成などに照らして、標準的な国語能力の水準以上であることも、重要な評価要素として採点する。

設問 2

自己の考えを明確に定立できることと、その考えと筆者の考えとの偏差を正確に把握することのできる読解力・分析力・論理力を発揮すること、そして、以上の内容を分かり易く説得力をもって伝える文章を編み出せる表現力の発揮ということなどに着目して採点する。

筆者が、あくまでも、学校教育の無償化、という点について述べている以上、そのこと自体の賛否を示す必要がある、ということにも着目し採点する。ゆえに、例えば、その点の賛否について曖昧なまま、別の論件を持ち出し大展開するような記載には厳しい評価を与えることになる。

なお、記載に当たり、日本語の用い方が、言い回しや、接続詞の用い方、段落の構成などに照らして、標準的な国語能力の水準以上であることが、重要な評価要素となることは、設問 1 と同様である。